

優秀賞

岸名 則子 [福岡県/63歳] テーマ「大切な人」

ある晴れた日、あなたはいそいそと出かける準備。「何処へ行くんですか？」義姉さんが尋ねると「うん則子の学芸会を観に行こうと思って」そう云って小学校へどこどこ歩いて行きましたね。義姉さんがそっと後を付けて行った事、あなたは知っていましたか？それに、その時、則子には三人の子どもが居ましたよ。

あなたの時々やってしまう可笑しな行動、でも嬉しかったよ。あなたのことを則子の娘は、おばあちゃんと呼ばず、トキちゃんと呼んでいた事、覚えてる？

面白いことを云っては子ども達を笑わせていましたね。あなたのそうした語録の数々、思い出しますよ。

「帰命というは招喚の勅命なり」それって、親鸞聖人のおことばだったんですね。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」「遠慮するより感謝」これは他人様の好意を無駄に
してはいけんよ、と教えてくれたんですね。「成るようにしか成らん」実はこのことば、若い頃は反抗して「成るように努力すれば・・・」等と思ったものです。でも今、やっと「そうねエ」と思えるよ。

あなたが床に着いてから、食事を手伝ったことがありましたね。ひと口食べては「ナマンダブ」ひと口食べてはまた「ナマンダブ」その事が忘れられません。

あなたの子どもとして生まれて、本当に良かったよ。娘が云っていました。それは、あなたの葬儀の時です。

弔辞を読んで下さった方が「竹を割った様な・・・」と云ったその時、参列の皆さんが一斉に頷いたそうです。後で聞いて、悲しみの中、やっと「ふふっ」と笑えました。私が辛い時、黙ってずっと側に居てくれましたね。今年（平成22年）2月、あなたの十七回忌の法事に孫を連れてお参りしましたよ。「そんなこと言わんでも知るとるよ」と言われそうですね。あなたとお父さんのお念仏が耳の奥底に留まり、今、口から出てくれています。お念仏を伝えてくれてありがとう。

南无阿弥陀佛